

名称等 令和元年度 第46回市民意識調査結果報告書を作成しました。
担当 企画部 生活安心課 市民相談センター
直通 055-934-4700 内線 2265

1 内容

令和元年度市民意識調査の結果を、別添報告書としてまとめました。

2 目的・理由

市民生活の現状や市民意識、行政に対する要望や関心度を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施しました。

3 調査内容

今年度は、「市政情報の広報」、「歯と口の健康づくり」、「地域福祉への関心」、「ごみの処理」、「沼津のまちづくり」、「スポーツへの関心」、「沼津市の地震、津波対策」について調査しました。

(1) 調査の設計

- ① 調査区域 沼津市全域
- ② 調査対象 満18歳以上の市民 2,100人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳データから等間隔無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送及びインターネットによる回答
- ⑤ 調査期間 令和元年6月18日(火)～7月1日(月)

(2) 回収結果

- ① 発送数 2,100人
- ② 回収数 963人
- ③ 配達不能数 7人
- ④ 未回収数 1,130人
- ⑤ 回収率 46.0%

4 調査結果

詳細結果は別添報告書をご覧ください。

調査結果について、担当による分析を一部ご紹介いたします。

① 「ごみの処理」に関する設問について

ごみの減量のために日頃行っていることについて伺ったところ、「詰め替え商品の購入」が 71.8%、「買い物袋を持参し、レジ袋を断っている」が 67.4%という結果となり、ごみの減量への意識が定着してきていることがうかがえる結果となりました。

一方、ごみを出す時に困っていることについては「粗大ごみを出すのが大変」が 47.8%と最も多く、女性の半数以上、また、年代が上がるほど大変と感じている人の割合が高い傾向となっていることがわかりました。

本調査により、現状把握することができましたので、今後の沼津のごみ処理に関する施策に活かしていきたいと考えます。

② 「沼津のまちづくり」に関する設問について

おでかけ状況について伺ったところ、おでかけの際の交通手段については、平日が 69.6%、土日祝日が 75.2%の市民が「自動車」を利用していることがわかりました。

一方、公共交通サービスの向上を 74.2%の市民が望んでいるという結果となりました。

本調査をふまえ、沼津市地域公共交通網形成計画策定に活かしていきたいと考えます。

5 報告書(別添のとおり)

① 作成部数 250 冊 販売はいたしません。

② 閲覧場所 市役所 2 階市民相談センターほか、各市民窓口事務所、市立図書館等の施設
※なお、この報告書につきましては 11 月 20 日(水)より市ホームページでもご覧いただけます。

6 経緯・経過

本調査は、昭和 49 年度に産業優先から生活優先へと価値観の転換が求められた社会背景の中で、市民の意思を反映した行政やより良い施策を図るための基礎的な資料を収集する目的で第 1 回目の調査を実施して以降、毎年度実施しているものです。